

平成30年度 第1回下関医療センター地域医療支援病院運営協議会  
(JCHO地域協議会) 議事概要

○ 日 時 平成30年9月13日(木) 19時00分～19時50分

○ 場 所 JCHO下関医療センター 2階カンファレンスルーム

○ 次 第

1. 開会

2. 院長挨拶

3. 議題

(1) 地域医療支援病院としての業務遂行状況について

- 下関医療センターの概要
- 患者の動向
- 紹介・逆紹介の件数の推移等
- 地域の医療従事者に対する研修の実施状況
- 奇兵隊ネット利用状況等
- 患者相談件数及び相談支援内容

(2) 一般社団法人下関市薬剤師会副会長 浜田幹生 様からの  
要望について

(3) 意見交換・質疑応答

4. 閉会

○ 出 席 者

木下 毅	一般社団法人下関市医師会 会長
芳川 修栄	一般社団法人下関市歯科医師会 常務理事
浜田 幹生	一般社団法人下関市薬剤師会 副会長
北村 満男	下関市消防局 局長
櫛田 宏治	東亜大学 学長
波佐間 清	下関市社会福祉協議会 会長
有島 靖久	上新地自治連合会上新地町一丁目自治会 会長
内納 之雄	伊崎自治連合会伊崎町二丁目自治会 会長
山下 智省	下関医療センター院長
玉栄 幸信	下関医療センター事務部長
古本たつ子	下関医療センター看護部長

○ 新委員の紹介及び代理出席について

新委員

北村 満男	下関市消防局 局長
櫛田 宏治	東亜大学 学長
波佐間 清	下関市社会福祉協議会 会長

代理出席

欠席 藤井 信 下関市歯科医師会 会長  
代理 芳川 修栄 下関市歯科医師会 専務理事

○ 会長の選任について

木下 毅 下関市医師会会長を協議会の会長として選任する。  
(全会一致で承認)

○ 議事概要

(1) 地域医療支援病院としての業務遂行状況について

・平成29年度の業務報告について、資料をもとに説明する。

(委員) 紹介件数が昨年度と比較して減少しているのは如何でしょうか。

(院長) 紹介件数はその病院の実力であり、紹介される地域病院との信頼でもあると考え、減少しているのは好ましくないと感じています。医師の質や信頼をあげていくことで増加させたいと思います。また、大学の事情で医師の派遣が叶わず、乳腺外科は医師退所後、補充がなく診療科がなくなり、整形外科は常勤医師がいない等の現状も影響していますが努力していきます。

(委員) 整形外科は、地域住民も受診される方が多いので常勤医師の確保を願いたい。

(院長) 山口大学以外にも確保にあたったのですができませんでした。特に医師が都会へ集中している状況があります。そのため大学の力も弱くなっており、当院としては山大を応援していきたいと考えています。もう少し大きな目で見に行かないと当院だけでは解決できない問題であります。当院で対応できることは今後も行っていくます。

(2) 一般社団法人下関市薬剤師会副会長 浜田幹生 様からの要望について

(委員) コンピューターのシステム上、一般名処方難しいでしょうか。

(事務局) 現在、電子カルテの導入を検討しておりますので、導入の際は対応したいと思います。

(委員) 剤形・規格・併売薬剤変更、必要のある一包化は事後報告での対応で良いようにご検討いただきたい。

(事務局) 全国的にプロトコルを作り病院と薬局が契約し対応するケースが増えています。今後、当院も薬剤師会、薬局にてプロトコルを作り契約して進んでいければ良いと思っております。

(議長) 薬剤師から飲みやすい等で剤形を変えられることに地域の一般の患者さん側からはどう思われますか。

(委員) 剤形が変更されても、薬剤師からしっかり説明を受ければ問題はないと感じる。本人が自分のことですから熟知してないといけない。ただし、地域も高齢化が進んでいるので医師、薬剤師からの薬の説明を重視していただきたい。

(委員) 退院時カンファレンスに、かかりつけ保険薬局を参加させていただきたい。(または、退院時処方内容をお薬手帳に記載していただきたい。)

(事務局) 当院薬剤師も退院時カンファレンスに中々参加できていない状況がありますが、やはりカンファが必要な患者さんには保険薬局の薬剤師さんにご参加いただき、情報提供させていただきたいです。また、当院薬剤師は現状では退院時カンファへの意識が低く、必要性、重要性を教育していこうと考えております。

(3) 意見交換・質疑応答

・特になし